



市民との対話集会（若者・社会人編）



対話集会とは

「地域の課題は市民の声の中にある。」との考えのもと、現場目線で、施策を推進していくことや、多くの市民の方が、市政やまちづくりを自分事として考え、行動する気運の醸成を図ることを目的として、市民と同じ目線に立ち市政やまちづくりを語り合う場です。

今年度は、次世代の思いを紡ぐ対話集会を2回、テーマ別対話集会を6回開催しています。

次世代の思いを紡ぐ対話集会～社会人編～

18歳～30代の社会人を対象に若者が活躍でき、「魅力あるまちとは何か？」を一緒に話し合いました。

日時：9月24日（日）14：00～16：00

場所：西駅交流センター

参加者：発言者8名 傍聴者20名

テーマ：①舞鶴の魅力って？

②【舞鶴の課題（こんなのあったらいいな）】

③つながりをつくる・ひろげる

主な意見（全容はグラレコをご覧ください！）

- 舞鶴の魅力は「自然豊か」「魚がおいしい」「都会すぎず、田舎すぎない」
- 新しいことをする時に応援してくれる人が多い（温かい優しいまち）
- 舞鶴には何もないと親世代が子ども達に伝えているので、舞鶴のイメージが悪く愛着がわからない。
- 店やイベント場所が点々としており、何もないように感じる
- 高校生など若者は、スタバやマクドなど有名店やチェーン店に憧れがある。（ステータス）
- 市外からでも訪れたいと思わせる商品や店が必要。
- 舞鶴にも魅力的な企業があるが、有名な企業は少ないので、働く場が少ないと思われる。
- 学生向けの体験型イベント（子どもに直接伝える）があっても良いのでは。
- 市だけでなく自分たちもこうした対話の集会を行っていくのがよいのではないかと。皆が集まると様々な価値観の思いが聴けて動くきっかけとなる。
- 自分の知らない魅力が知れて、この集まり自体魅力的。こういう機会を設けてくれて嬉しい。



